症例報告を含む投稿および研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針

近年、個人のプライバシー尊重が重視されている。医学界においても患者のプライバシー保護は医療者が遵守すべき重要な責務である。当協会の機関誌『漢方の臨床』への投稿や研究会での発表においても、プライバシー保護に留意し、患者が特定されないよう配慮すべきである。

以下は東亜医学協会において策定した、症例報告を含む投稿および研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針である。

(1) 患者個人の特定が可能な氏名、患者・入院番号、イニシャル、呼び名などは記載しない。
(2) 患者の住所は記載しない。但し、疾患の発生場所が病態等に関与する場合は都道府県・市区町村などの区域までに限定しての記載は可とする。
(3) 年月日の記載は、臨床経過を知る上で必要となることが多いので、個人が特定されないと判断される場合は記載してよい。
(4) 他の情報と診療科名を照合することにより患者が特定され得る場合、診療科名は記載しない。
(5) すでに他院などで診断・治療を受けている場合、その施設名および所在地は記載しない。ただし、救急医療などで搬送元の記載が不可欠の場合はこの限りではない。
(6) 顔写真を提示する場合は、本人の特定ができないよう配慮する。
(7) 患者を特定できる生検、剖検、画像情報に含まれる番号などは削除する。
(8) 以上の配慮をしても個人が特定化される可能性のある場合は、発表に関する同意を患者自身（または遺族・代理人・保護者）から得るか、自施設の倫理委員会がある場合はその承認を得る。
(9) 遺伝性疾患やヒトゲノム・遺伝子解析を伴う症例報告では「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」（文部科学省、厚生労働省および経済産業省）による規定を遵守する。

平成 27 年 7 月
東亜医学協会

投稿規定（2015年7月改訂）

投稿の資格及び区分

1. **投稿資格**は原則として**東亜医学協会会員**に限ります。
2. 原稿の区分は、A. 論文（原著・一般）、B. 総説・論説・症例報告・エッセイ・その他。
3. 本誌掲載原稿の**著作権**は**東亜医学協会に帰属**します。
4. 他誌に発表済または投稿中のものは不可（ただし、学会等での口演を大きく加筆したものは除く。その場合は本文中にその旨を記すこと）。
5. 投稿にあたっては、本協会HP掲載の「患者プライバシー保護に関する指針」を遵守して下さい。

A. 論文（原著・一般）

1. 原著論文としての扱いを希望される方はその旨明記願います。（原著希望の場合、審査があります）
2. 独創性に富み、主張が明確に表明されている論文を歓迎します。
3. 一般論文もなるべく原著論文に近い形式で作成して下さい。

〔内容形式〕

1. 論文形式は、**はじめに（緒言）・研究対象及び研究方法・結果・考察・結論・参考文献**の順序を踏むようにして下さい。
2. 次のものを添付して下さい。①**表題・著者名・所属**、②**要旨**、③**キーワード**（五つ以内）。（以上①②③は、原著論文は英文・和文の二種、一般論文は和文の一種）。④別紙に〝本論文の内容は他誌に未発表であり、投稿中でもない〟旨を明記し、当編集企画委員会宛に論文タイトルを併記し、著者全員の署名・捺印および日付を付記して下さい。
3. **引用文献は原則二〇篇まで**とし、本文末尾に一括して記載して下さい。

〈雑誌の場合〉

著者名：題名、雑誌名、巻(号)、該当頁、発行年

（例）漢方太郎：周術期深部静脈血栓症に対する桂枝茯苓丸料エキスの予防効果、臨床漢方、54(2)、P236–239、2002

（例）Fin A, Reinhardt J, Keen D, et al.: Influenza treated with Ephedra Decoction. Traditional Sino-Japanese Medicine, 15, 235-242, 2008

〈書籍の場合〉

著者名：書名、発行所、発行地、該当頁、発行年

（例）東亜尚助：生薬学概論、漢薬社、東京、P9–15、2002

B．総説・論説・症例報告・エッセイ・その他

〔内容形式〕

1．本欄は漢方（医学・薬学）と鍼灸・医史、それに関連する領域について知見を総論的に記述するか、あるいはそれにもとづいて著者の見解を展開するものです。エッセイ・学会印象記・書評などは気軽に読める肩のこらない文章を歓迎します。

2．投稿形式は自由で、要旨は不要です。引用文献の記載は「A．論文」に準じて下さい。症例報告の場合は、できる限りその方剤を選択した根拠を記載して下さい。

投稿の採否等

1．採否は編集企画委員会もしくは編集局が決定します（**原著論文に関しては、編集企画委員会が委嘱した複数の審査員の意見を参考にして決定します。採否に関するお問い合わせには応じられません**）。編集方針により加筆削除等をお願いすることがあります。また論文区分を編集企画委員会が変更することがあります。

2．投稿原稿が複数回連続する場合は、およその連載回数をご記入下さい。

3．投稿原稿の共同執筆者は原則として六名以内でお願いします。

4．掲載原稿及び**電子データ**は原則として**返却しません**。手元にコピーを保存して下さい。著者校正は原則として一回です。

5．**別刷は希望者に三〇部を無料進呈**します。それ以上は実費になります。**別刷希望者は校正刷の冒頭に部数を明記**して下さい。

6．**カラー印刷は実費**になります。

7．**原稿は**原則的に**電子入稿**とします。電子メールの場合は添付ファイルで投稿可。郵送の場合は打ち出し原稿と電子媒体（ＣＤ－ＲＯＭ、ＵＳＢ、ＦＤＤなど）をセットにして提出。手書きの場合は、四〇〇字詰の原稿用紙に図表（一つ四〇〇字に換算）、文献を含め三〇枚以内にして下さい。ＦＡＸでの入稿も可。（本誌一頁の文字数は約一、〇〇〇字です）

〔原稿送付先〕
〒１０１－００６５
東京都千代田区西神田２－７－４　島崎ビル６階
東亜医学協会　編集局　宛
電　話：０３（３２６４）８４１０
ＦＡＸ：０３（３２６５）５９９５
Ｅメールアドレス：domei-toa@nifty.com